令和７年度 木材利用推進コンクール
受賞施設等の概要

木材利用推進中央協議会

【優良施設部門】

〈内閣総理大臣賞〉
NISHIGAWA TERRACE（岡山県）

〈農林水産大臣賞〉
パッシブタウン第５街区（富山県）

〈文部科学大臣賞〉
六戸町立義務教育学校六戸学園（青森県）

〈国土交通大臣賞〉
CREVAおおくま（福島県）

〈環境大臣賞〉
自然環境型CLT&ZEBオフィスビル（兵庫県）

〈林野庁長官賞〉
・キャプション by Hyatt 兜町 東京（東京都）
・高槻城公園芸術文化劇場（南館）（大阪府）
・エバーフィールド木材加工場（熊本県）

〈木材利用推進中央協議会会長賞〉
・DLT木造仮設住宅（石川県）
・まきのさんの道の駅・佐川（高知県）
・八女市庁舎（福岡県）

〈審査委員会特別賞〉
・戸田建設オフィス TODA CREATIVE LAB（東京都）
・2025年日本国際博覧会 大屋根リング（大阪府）
・福岡県酒造組合会館（福岡県）
・小浜ヴィレッジ（鹿児島県）

【優良施設部門】 〈優秀賞〉

①エア・ウォーターの森（北海道）
②新得町役場庁舎（北海道）
③遠野 森のがっこう（岩手県）
④秋田市立日新小学校（秋田県）
⑤筑波胃腸病院　増築棟（茨城県）
⑥栃木JIMINIE倶楽部 自然の家みかも（栃木県）
⑦ウッドボックス（埼玉県）
⑧奥村組　西川口寮（埼玉県）
⑨竹中育英会学生寮（東京都）
⑩田園都市線駒沢大学駅（東京都）
⑪東京農業大学青雲寮（東京都）
⑫武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」（東京都）
⑬実践倫理宏正会城端支部（富山県）
⑭ローム株式会社本館（京都府）
⑮江坂ひととき（大阪府）
⑯大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn（大阪府）
⑰桃山学院大学和泉キャンパス エレノア館（大阪府）
⑱リブウッド大阪城（大阪府）
⑲岩谷産業神戸研修所（兵庫県）
⑳丹波市立山南中学校（兵庫県）
㉑久米南町庁舎・久米南町コミュニティセンター（岡山県）
㉒セリオ株式会社本社（本館：Head office 別館：Annex building）（岡山県）
㉓T – スタ（岡山県）
㉔豊平地域づくりセンター（広島県）
㉕徳島県庁舎11階「食堂」及び「展望者ロビー」（徳島県）
㉖X-ino（シーノ）（高知県）
㉗添田町立小中学校（福岡県）
㉘芦北町営住宅 的場尻団地（熊本県）
㉙熊本県立小川工業高等学校 実習棟（熊本県）
㉚南阿蘇鉄道高森駅・交流施設（熊本県）
㉛無印良品 日田店舗（大分県）

〈優良施設部門〉

内閣総理大臣賞

NISHIGAWA TERRACE（岡山県岡山市）

【施設概要】

岡山市中心部、西川緑道公園に面する敷地に計画された、循環をコンセプトとした木造複合施設。地方都市の市街地に多い低層商業施設にフィットした一方向ラーメン、燃え代設計（準耐火構造）による木材現しの空間となっている。地方の中小製材所で製作可能な構成部材を用い、木材の調達、部材生産、建設までを地域内で担えることや、雨水循環による菜園への灌漑システムの整備など、工夫がこらされており、地方で展開可能な都市木造の一タイプとなることが期待される。

施主	有限会社ティーハウス
設計	竹下和宏建築設計事務所／ 株式会社木下洋介構造計画
施工	株式会社ミナモト建築工房
主要構造	木造軸組工法、鉄骨造
延床面積	468.36㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ

農林水産大臣賞

〈優良施設部門〉

パッシブタウン第5街区（富山県黒部市）

【施設概要】

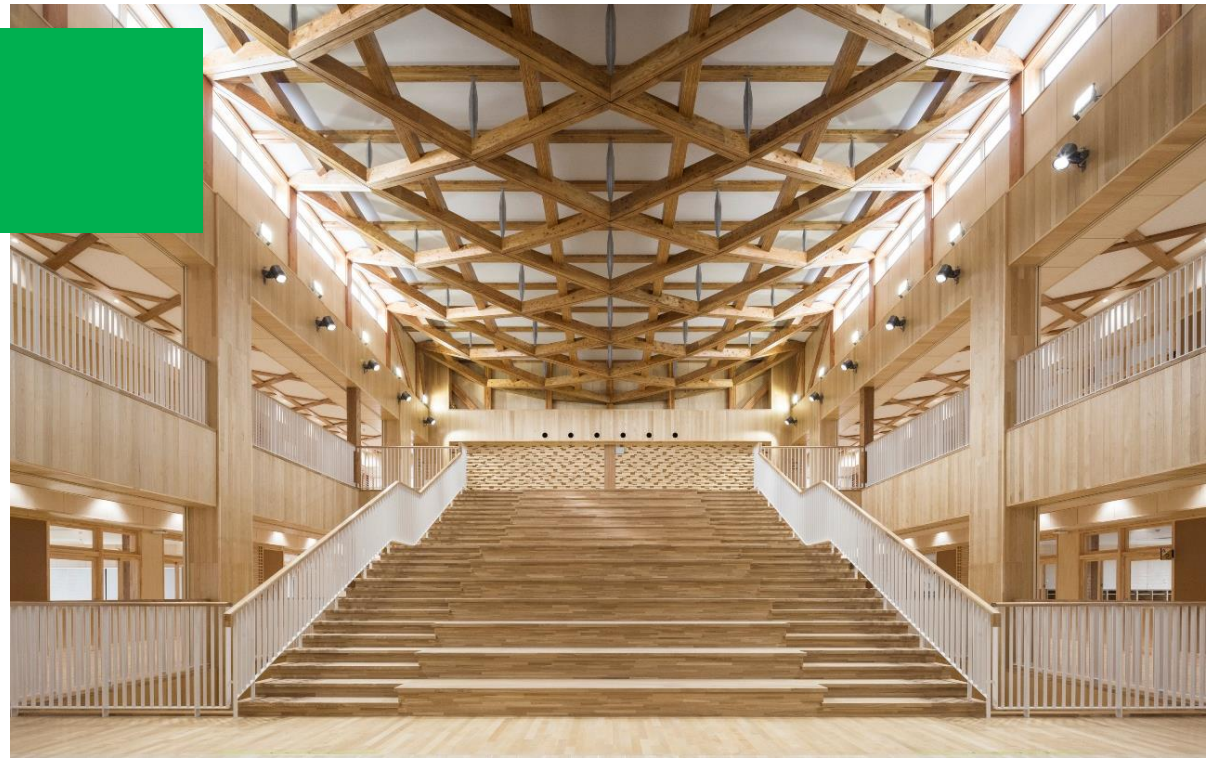
木造耐火構造の中高層集合住宅。設計開始1年前から富山県森林組合と連携し、木材調達体制を構築。使用された木材の87％を建設地から85km範囲の森林から調達、加工まで行っている。オーストリアの木造建築家と竹中工務店が共同設計し、日本の風土（耐震・耐火・気候）に合った次代の木造化・木質化に取り組んだ優良な事例。木材使用量は、平均的な木造耐火建築物の4倍を超える。建物の広範囲を木造・木質化することで、より高い脱炭素化を実現している。

施主	YKK不動産株式会社
設計	Hermann Kaufmann Architekten＋ 株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
主要構造	木造軸組工法、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
延床面積	8,983.67㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ他

文部科学大臣賞

〈優良施設部門〉

六戸町立義務教育学校六戸学園（ろくのへ）（ろくのへ）
（青森県上北郡六戸町）



【施設概要】

地域材の積極的な活用と革新的な木質構造を特徴とする木造３階建ての校舎。川上から川下の連携による地域材調達体制を構築し、構造躯体には84％に県産材が利用されている。

また、大スパンの張弦梁や木と鉄のハイブリッドトラス工法を採用し、構造の経済性と施工性を両立させている。ヒバ材を多用した温かい内装や、六戸町の“六”の字をデザインした六角トラスなど、木の温もりあふれる快適な学習環境を提供している。

施主	六戸町
設計	株式会社八洲建築設計事務所
施工	日本国土開発株式会社 東北支店／ 株式会社佐藤建設工業／株式会社中屋敷建設
主要構造	木造ラーメン構造、鉄骨造
延床面積	15,714.07㎡
主な使用樹種	スギ、ヒバ他

〈優良施設部門〉

国土交通大臣賞

CREVAおおくま（福島県双葉郡大熊町）

【施設概要】

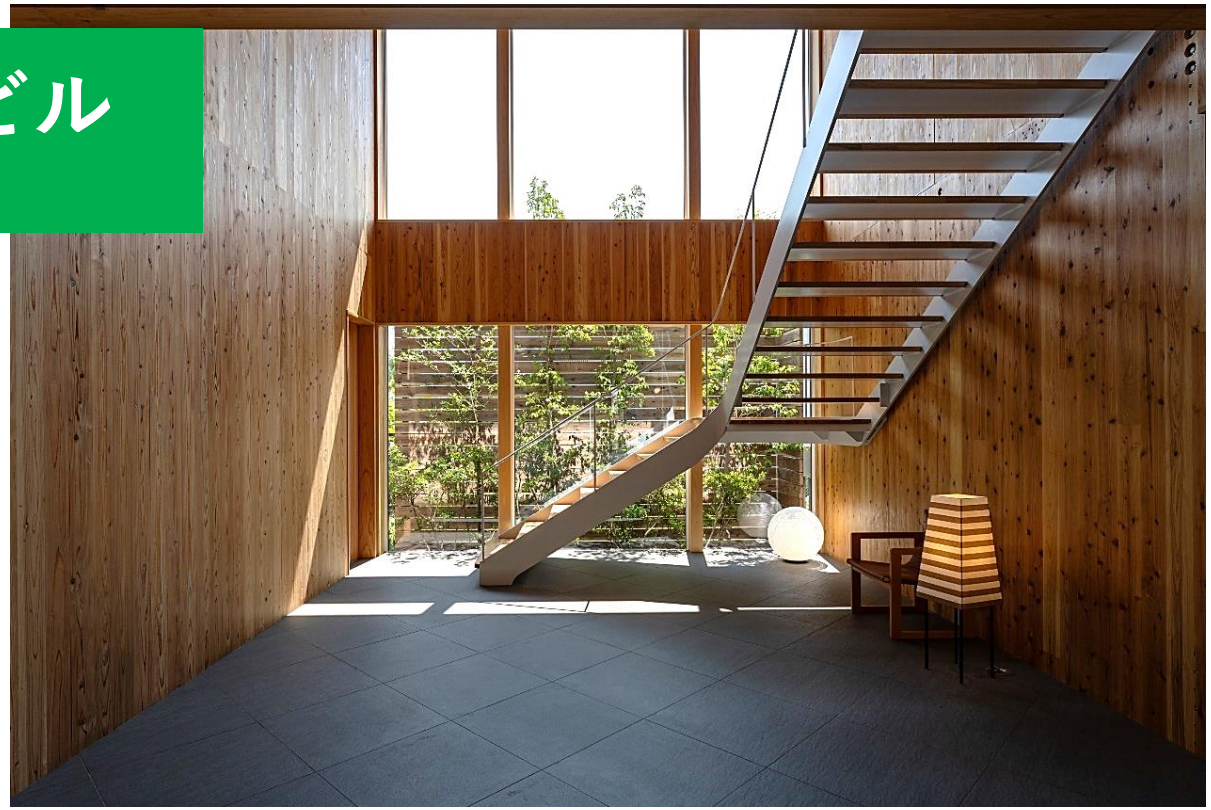
東日本大震災と原発事故による被害を受けた福島県大熊町で、かつて町の中心部だった大野駅前に復興や新産業創出のためのオフィス及び交流機能の複合施設として整備された。施設中央には、県産木材と鉄骨を組み合わせた大空間の共用スペースが設けられ、暮らす人・働く人・町を訪れる人など利用者の垣根を超えて誰もが自分の居場所と感じられる温かな印象の交流の場が創出されている。

施主	大熊町
設計	清水建設・関・空間設計 特定建設工事共同企業体
施工	清水建設株式会社
主要構造	木鉄ハイブリッド架構、鉄骨造
延床面積	10,308.69㎡
主な使用樹種	カラマツ、スギ他

〈優良施設部門〉

環境大臣賞

自然循環型CLT＆ZEBオフィスビル
（兵庫県姫路市）



【施設概要】

兵庫県産スギ・ヒノキを用いた木造CLTパネル工法のオフィスビル。『地域の山から製材した木で建築し、木の心地良さを感じながら太陽や雨の恵みを活用するCLT＆ZEB建築』をコンセプトとして、太陽光や太陽熱、雨などの自然エネルギーを活かすとともに、LCCO$_2$削減型の『ZEB』として、施工から運用まで建物の環境負荷を最大限に低減し、完全ZEBを達成した次世代のモデルとなるCLT建築である。

施主	山陽建設株式会社
設計	前川建設株式会社
施工	前川建設株式会社
主要構造	CLTパネル工法
延床面積	591.85㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

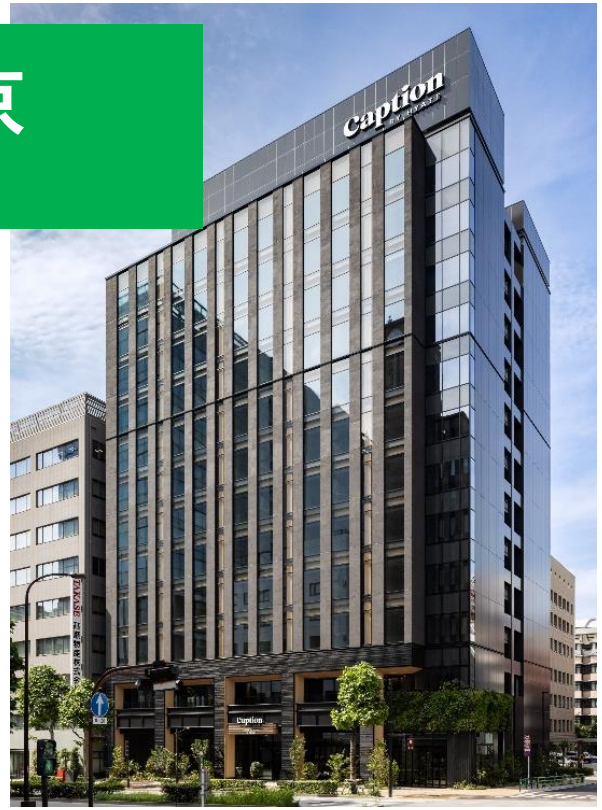
〈優良施設部門〉

林野庁長官賞

キャプション by Hyatt 兜町 東京
（東京都中央区）

【施設概要】

日本橋兜町・茅場町のまちづくりの一環として整備された、地上12階建ての木造ハイブリッド構造による都市型ホテル。環境負荷を抑えながら、快適性・機能性・耐火性を両立し、木構造の魅力を内外装に生かした、都心における中高層木造建築の可能性を示す先導的事例。全国各地の工場との関係構築を図ることで、集成材工場のない東京都心においても、産地・樹種・強度などのニーズに合わせた安定的入手ができるインフラを整えた取組み。



施主	平和不動産株式会社
設計	株式会社三菱地所設計
施工	株式会社大林組
主要構造	木造軸組工法、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
延床面積	9,977.66㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ

〈優良施設部門〉

林野庁長官賞

高槻城公園芸術文化劇場（南館）
（大阪府高槻市）

【施設概要】

かつての高槻城跡に立つ市民芸術文化劇場。市民に開かれた公共空間をつくるため、「回遊性のある、公園と一体となった劇場」をキーワードとして設計されている。規模や機能の異なる３つのホールと10室のスタジオを、それぞれ「すきま」を設けてポーラスに分散配置することで、園内を散策するかのように自由に施設に出入りすることができる。内外装には、大阪府産の木ルーバーが張り巡らされており、光と緑があふれる開放的な空間が創り出されている。

施主	高槻市
設計	株式会社日建設計
施工	株式会社大林組
主要構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	17,273.65㎡
主な使用樹種	スギ

〈優良施設部門〉

林野庁長官賞

エバーフィールド木材加工場
（熊本県上益城郡甲佐町）

【施設概要】

建設会社の木材加工場として計画された当施設は、熊本県産の小国杉を使い、材長４ｍ以下の小中径製材が互いにもたれかかるように支え合う「木造レシプロカル構造」により、斬新な木造無柱空間を実現している。

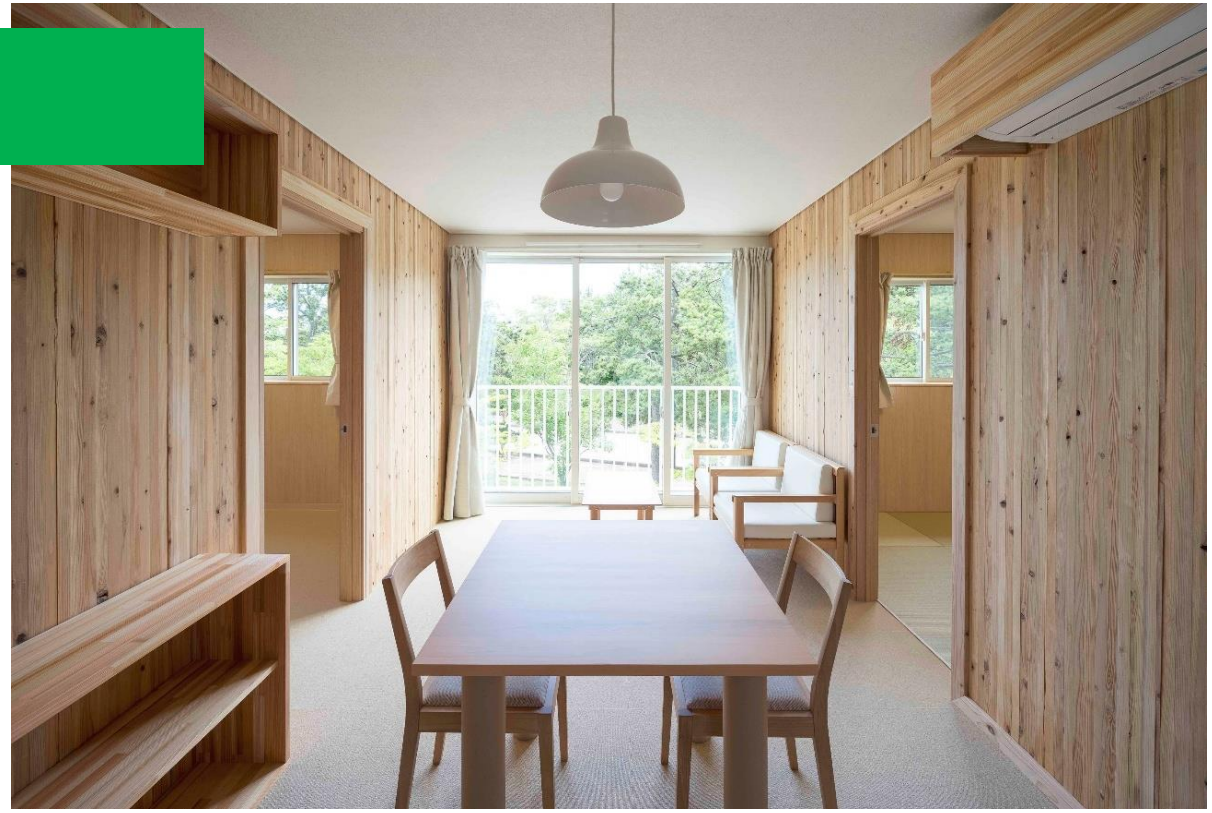
自然災害からの再建の原動力となる木造建築産業のさらなる活性化のため、また、地域における大工の育成や技術力の向上を図るためのスペースとしても構想されている。

施主	株式会社エバーフィールド
設計	有限会社アトリエ・シムサ／ 合同会社 kittan studio／3916 architecture
施工	株式会社エバーフィールド
主要構造	木造軸組工法
延床面積	638.98㎡
主な使用樹種	スギ他

〈優良施設部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

DLT木造仮設住宅（石川県珠洲市）



【施設概要】

2024年の能登半島地震の被災地に建設された応急仮設住宅。木材に穴をあけて並べたものに木ダボを挿し込んで接着剤を使わずにパネル化したDLT（Dowel Laminated Timber）を、箱型のユニットにして積み上げることで工期を短縮。珠洲市と輪島市において計12棟・166世帯分の二階建て仮設住宅が建設された。地場の中小製材工場でも製造することができるため、災害時でも対応しやすい点で普及が見込まれる。

施主	石川県
設計	坂茂建築設計
施工	株式会社家元
主要構造	木造、鉄骨造
延床面積	4,168.98㎡
主な使用樹種	スギ

〈優良施設部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

まきのさんの道の駅・佐川
（高知県高岡郡佐川町）

【施設概要】

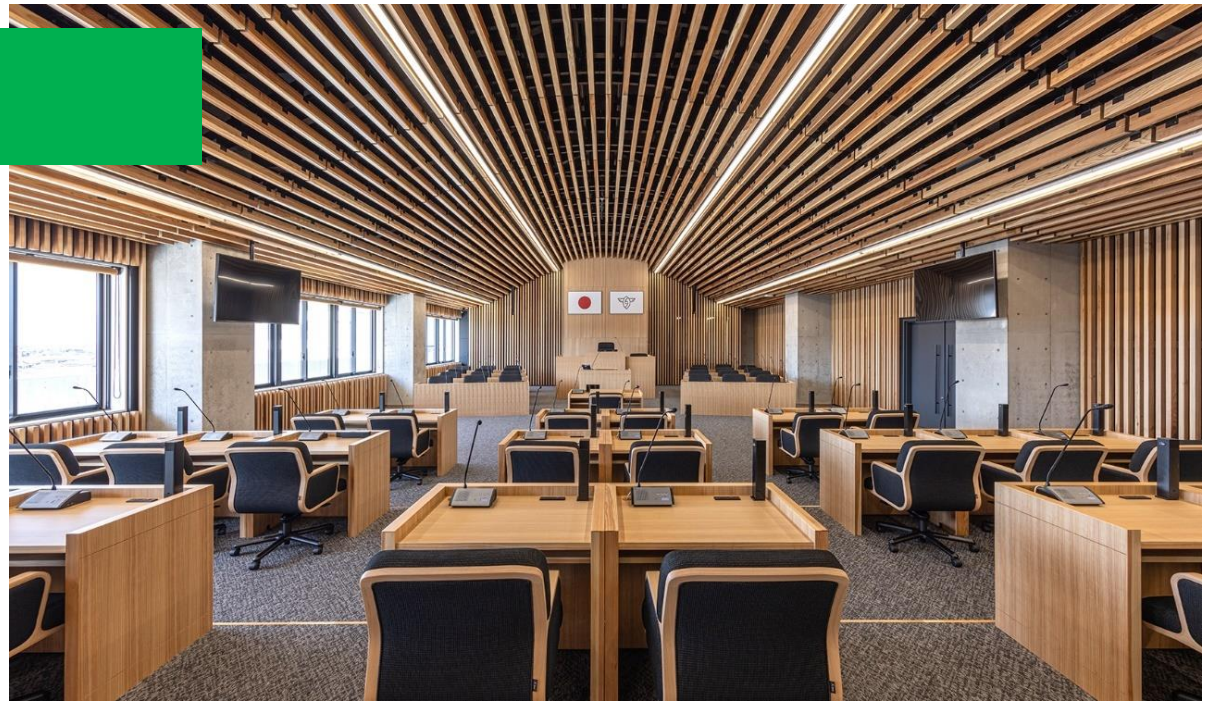
高知県産のスギやヒノキを積極的に活用した在来軸組構造の平屋の道の駅。建物が雁行しており、それぞれのエリアに、サスペントラス、張弦梁、カステン構造という3種類の木造吊り工法が連続しており、木造カステン構造は世界初の実現例となる。ふんだんに地場木材を使用し、豊富な地域情報や町の魅力を発信する施設となっている。

施主	佐川町
設計	STUDIO YY／若竹まちづくり研究所／ワークステーション
施工	岸之上工務店
主要構造	木造軸組工法
延床面積	1,841.95㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ

木材利用推進中央協議会会長賞

〈優良施設部門〉

八女（やめ）市庁舎（福岡県八女市）



【施設概要】

かつて城下町として栄え、「重要伝統的建造物群保存地区」として守られてきた景観に調和するデザインとして計画された市庁舎。八女市産のスギを内外装にふんだんに用いるとともに、町屋の白壁や木格子の意匠的な要素を新しい空間に取り入れることで地域に馴染む庁舎を実現している。時間とともに色を変える木材の変容性を通じて、地域に溶け込みながら、ともに生き、成長するという願いを込めた空間が造られている。

施主	八女市
設計	株式会社梓設計
施工	東急・イノウエハウジング特定建設工事共同企業体
主要構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造
延床面積	11,299.47㎡
主な使用樹種	スギ

審査委員会特別賞

〈優良施設部門〉

戸田建設オフィス TODA CREATIVE LAB
（東京都中央区）

【施設概要】

木材提供元の北海道下川町と地域創生に関する包括連携協定を締結し、戸田建設の内装木質化を促進する最初の取組として創られた新オフィス計画。木材の流通過程を可視化する“森を忘れないプロジェクト“の実装やFSC®プロジェクト認証の取得など、川上から川下までの連携を活かした「木の記憶を辿る」空間を創出している。

施主	戸田建設株式会社
設計	戸田建設株式会社／株式会社清和ビジネス／株式会社丹青社
施工	戸田建設株式会社／株式会社清和ビジネス／株式会社丹青社
主要構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	16,167㎡
主な使用樹種	トドマツ、カラマツ他

〈優良施設部門〉

審査委員会特別賞

2025年日本国際博覧会 大屋根リング
（大阪府大阪市）

【施設概要】

「多様でありながら、ひとつ」という大阪・関西万博の理念を表わすシンボルとなる建築物。内周直径約616m、外周直径約674m、幅約30m、全長約2kmにわたる圧倒的なスケールの木空間は、国産材18,010㎥の木材を利用した世界最大の木造建築物となり、地上12mの木の上を歩くという貴重な体験を実現するとともに、大屋根の歩行面と軒裏等に採用された日本のヒノキの美しさを多くの来場者に印象づけた。

施主	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
設計	〈会場デザイン〉 藤本壮介建築設計事務所 〈基本設計〉 東畑・梓設計共同企業体 〈実施設計〉 株式会社大林組(北東工区)／清水建設株式会社(南東工区)／株式会社竹中工務店(西工区)
施工	大林組・大鉄工業・TSUCHIYA共同企業体(北東工区)／清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体(南東工区)／竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体(西工区)
主要構造	木造軸組工法
延床面積	66,900㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ他

審査委員会特別賞

福岡県酒造組合会館（福岡県福岡市）

【施設概要】

県内の蔵元60社以上で運営される組合の活動拠点となる事務所。50名弱を収容する会議室をメイン空間とし、会長室、試験室、打合せ室、事務室、ロビー空間から構成されている。酒蔵建築を想起させる大和貼りの外壁や内装の各所にスギの背板が用いられている。背板とは製材時に発生する丸太外周の端材のことで、通常は廃棄されてしまうが、手間を掛けて建材へとアップサイクルすることで、木材を可能な限り利活用している。

施主	福岡県酒造組合
設計	建築巧房
施工	山下建設株式会社
主要構造	木造
延床面積	313.09㎡
主な使用樹種	スギ、ベイマツ

審査委員会特別賞

〈優良施設部門〉

小浜（おばま）ヴィレッジ（鹿児島県霧島市）

【施設概要】

11代にわたって林業、製材業を行ってきた地元工務店による完全民設民営のまちづくりプロジェクト。７つのオフィスと６つの店舗が入居し、コミュニティをつくりながら場を育み続けている新しい複合生活拠点となっている。構造躯体をはじめ、壁や床、ブリッジ、手すりなどあらゆるところに鹿児島県産材を利用している。「地材地建」にこだわり、建築家・構造家・家具デザイナーなどとコラボレーションしながらチャレンジングな木の使い方に取り組んでいる。

施主	株式会社住まいず
設計	株式会社フジワラテッペイアーキテクツラボ
施工	株式会社住まいず
主要構造	木造軸組工法
延床面積	1,207.11㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

【国産材利用推進部門】

〈農林水産大臣賞〉

三井ホーム株式会社（東京都）

〈林野庁長官賞〉

・株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都）
・株式会社さつまファインウッド（鹿児島県）

〈木材利用推進中央協議会会長賞〉

・株式会社栃毛木材工業（栃木県）
・新丹生谷製材協同組合（徳島県）

農林水産大臣賞

〈国産材利用推進部門〉

三井ホーム株式会社（東京都）

【取組概要】

従来メインであった輸入材に代わる国産スギ材を使用したツーバイフォー製材を西日本エリアを中心に開始。その後、トドマツ材を加えて東日本エリアにも国産材使用を広げ、現在では全国で国産木材を活用することで、各地域におけるツーバイフォー材の供給網を構築し、川上側まで連携したサプライチェーンの形成に繋げた。

また、在来軸組工法用の国産杉ネイルプレートトラスなど新商品・独自技術の開発を通じて、国産材利用の拡大に大きく貢献するとともに、木造建築による炭素固定量の試算・公表、「国産材活用住宅ラベル表示」の運用など、木材に関わる社会的課題への対応、木材利用の普及啓発にも積極的に取り組んでいる。

事業者名	三井ホーム株式会社
所在地	東京都江東区新木場1-18-6 新木場センタービル９階
業種＜業態＞	住宅関係事業者＜川下＞
国産材利用量	約21,749㎥

〈国産材活用住宅ラベル表示〉

〈国産材訴求ポスター〉

〈木材利用推進の普及啓発活動〉

林野庁長官賞

〈国産材利用推進部門〉

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都）

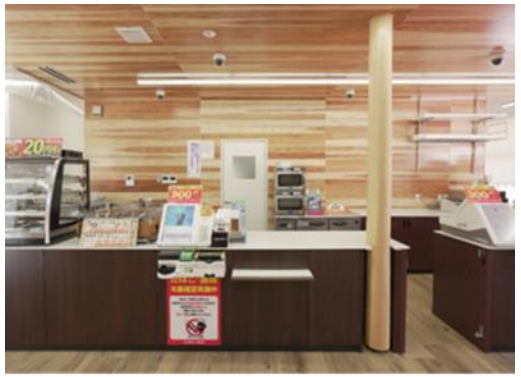
【取組概要】

木造店舗の取組として、2010年から2022年に北海道で330店、2020年から2025年６月まで全国で43店の木造店舗を建築。2024年８月に農林水産省と建築物木材利用促進協定を締結し、新たに出店する店舗などにおいて、持続可能な資源である木材(地域材)を積極的に活用した木造化・木質化を推進し、５年間で約1,375㎥の地域材の利用を目指している。

一般消費者に身近なコンビニエンスストアでの地域材の利用、これら取組を通じた情報発信など、国産材の利用拡大を積極的に推進している。

事業者名	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
所在地	東京都千代田区二番町8-8
業種＜業態＞	コンビニエンスストア事業＜施主＞
国産材利用量	411㎥

〈「セブン-イレブン福岡ももち店」オープン(2024年８月)〉



〈京都市産材100％の店舗（伏見北鍵谷公園店）〉

林野庁長官賞

〈国産材利用推進部門〉

株式会社さつまファインウッド（鹿児島県）

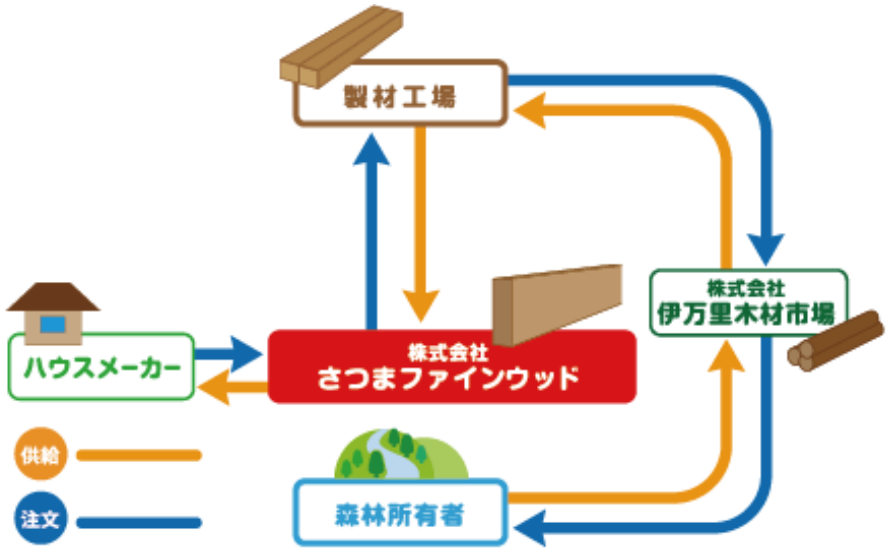
【取組概要】

約10年前のツーバイフォー部材は、そのほとんどに輸入材（SPF材）が使用されていた中、国産スギツーバイフォー部材生産に先駆的に取り組む。グループ会社での原木集荷体制による安定供給、連携会社のラミナ生産、ハウスメーカー等との継続取引契約など、地域内のスギ材活用のサプライチェーンを形成し、国産材需要の拡大を推進。

その他に、ツーバイフォー建築における国産木材活用協議会（設立2022年11月）の発起人企業として活動に参画し、業界のそれぞれの立場からの意見交換の場の設定、国産ツーバイフォー材の普及に対する課題などの共有と対策立案、研究活動などに取り組んでいる。

事業者名	株式会社さつまファインウッド
所在地	鹿児島県霧島市国分上野原テクノパーク1247-23
業種＜業態＞	製材・集成材・合板業者＜川中＞
国産材利用量	40,012㎥

〈国産材に対応する無垢材とフィンガ―ジョイント材〉



〈国産２×４部材を安定供給するサプライチェーン〉

木材利用推進中央協議会会長賞

〈国産材利用推進部門〉

株式会社栃毛（とちもう）木材工業（栃木県）

【取組概要】

栃木県、群馬県、茨城県において約2,100haの自社山林の管理・経営を行い、自社製材工場へ原材料を供給し、さらに建築物件へ製材品を供給する社内完結のサプライチェーンを形成。これにより地域材の安定供給、需要とのマッチングが可能となっている。

また、栃木県木材業協同組合連合会へ木材コーディネーターを派遣し、中規模物件、公共物件への国産材の供給を行っているほか、チップの生産、J-クレジットの創出・販売、炭素固定量・CO２排出量の公表など、原木の価値をできるだけ高め、木材の循環利用や持続可能な森林経営の実現を目指す意欲的な取組を推進している。

事業者名	株式会社栃毛木材工業
所在地	栃木県鹿沼市下永野777
業種＜業態＞	製材・集成材・合板業者＜川中＞
国産材利用量	16,059㎥

〈原木価値を高めるためのチップ生産〉

〈JAS構造用製材品〉

木材利用推進中央協議会会長賞

〈国産材利用推進部門〉

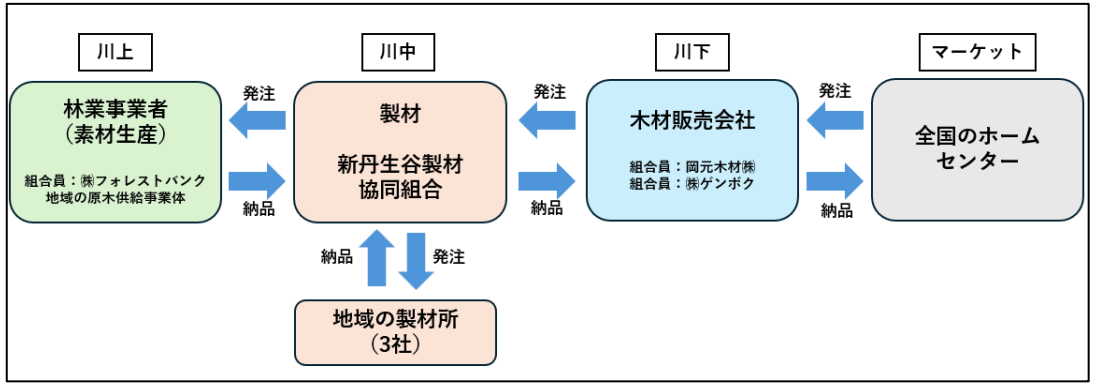
新丹生谷製材協同組合（徳島県）

【取組概要】

後継者不在の製材所を継承し、製材事業を再生。廃業した製材所を買い取るなど事業を拡大し、現在は組合員３社、地元山間地域の製材所との協働により、一気通貫の木材生産販売体制を構築。顧客のニーズや市場の需要に基づいて製品やサービスを提供するマーケットイン型のサプライチェーンを実現した。

地域原木を原料とした製品を全国のホームセンターへ供給することにより、徳島県産材の販路拡大、普及推進に貢献している。製材製品の生産・販売のほか、自組合及び組合員の管理する山林における森林整備や木材生産、J-クレジットの取組の支援、未利用材の木質バイオマス発電所への供給など、地域密着型の多様な取組を積極的に推進している。

事業者名	新丹生谷製材協同組合
所在地	徳島県那賀郡那賀町中山字黒沢東谷5番地
業種＜業態＞	製材・集成材・合板業者＜川中＞
国産材利用量	6,980㎥

〈ホームセンターでの徳島県産材の販売〉

〈サプライチェーンの一角（川中）として協働体制を形成〉